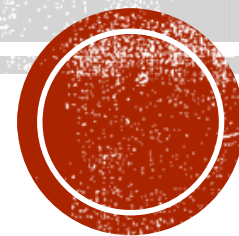


航空消防における調査



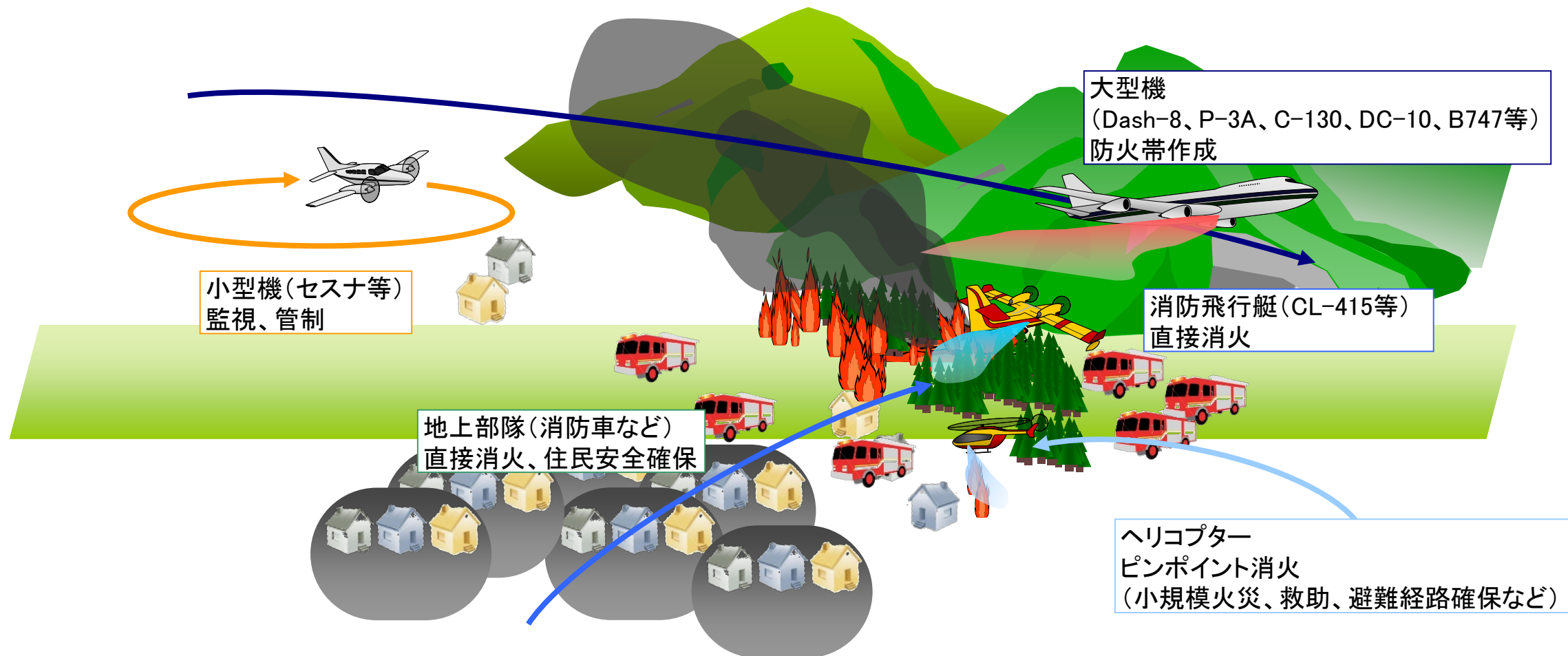
世界の消防機－種類と特徴

- ・ヘリコプター－小回りが利き効率的。搭載量が少ない。飛行時間が短い。
- ・陸上機－－－搭載量が多い。飛行時間が長い。給水に時間がかかる。
- ・飛行艇－－－搭載量が多い。飛行時間が長い。給水時間が短い。



消火活動における役割分担の例

- 固定翼（大型および消防飛行艇）＋ヘリ＋地上部隊による連携



世界の固定翼消防機

固定翼陸上機



Firecat(カナダ)
搭載水量 最大約3t



Dash8 Q400(カナダ)
搭載水量 最大約10t

世界の固定翼消防機

固定翼陸上機



P-3A(米)
搭載水量 最大約11t



B747(米)
搭載水量 最大約75t

世界の固定翼消防機

水上機／飛行艇



Air Tractor AT-802F(米)
搭載水量 最大約3t



CL-415(カナダ)・・・現在CL-515の開発を計画中
搭載水量 最大約6t

世界の固定翼消防機

飛行艇



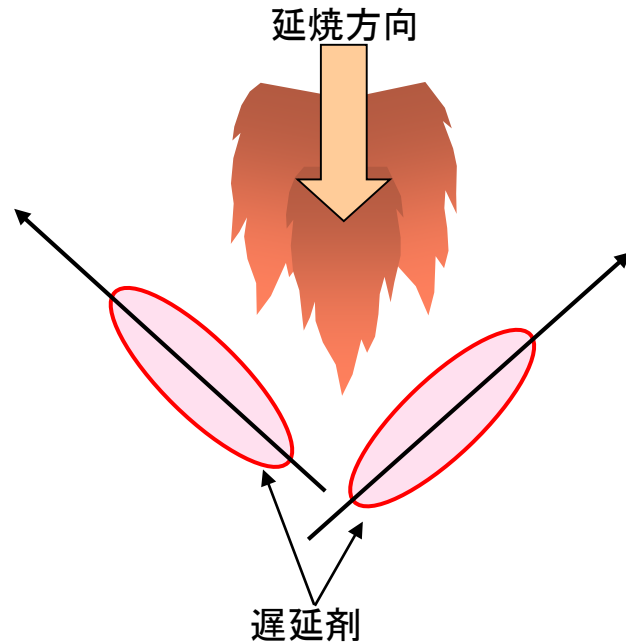
AG600(中国)…開発試験中
搭載水量 最大約11t



Be-200(ロシア)
搭載水量 最大約12t

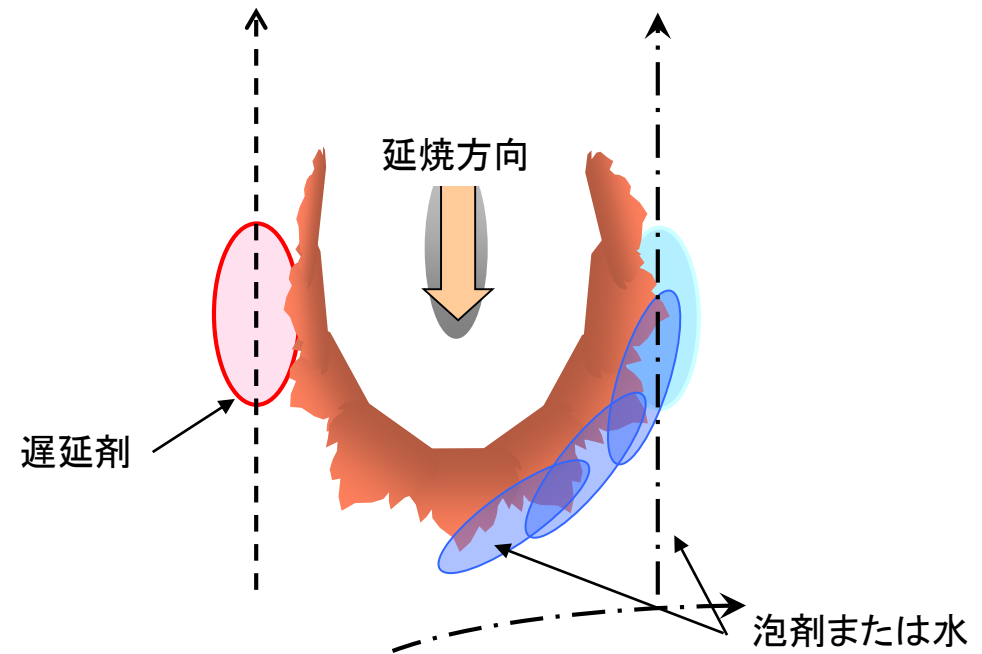
消火戦術の一例

・フランスにおける消火戦術の一例



初期消火の場合

- ・延焼方向前方を囲い込むように遅延剤を散布

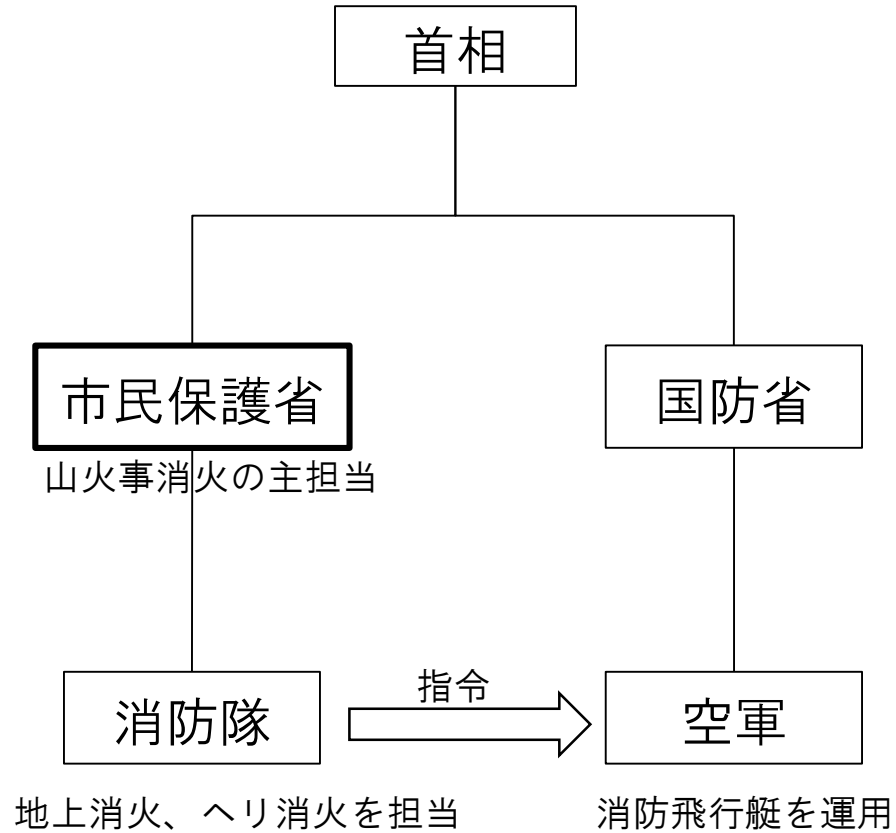


大規模消火の場合

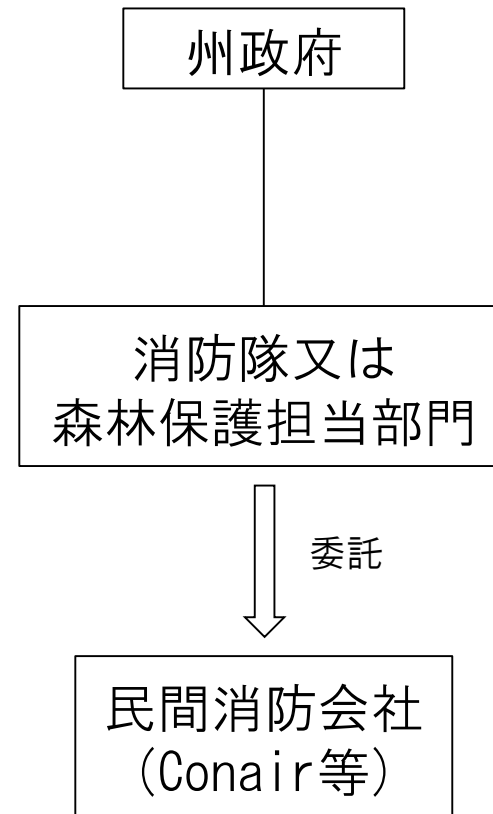
- ・遅延剤と水または泡剤を併用して消火

森林消火の体制(代表例)

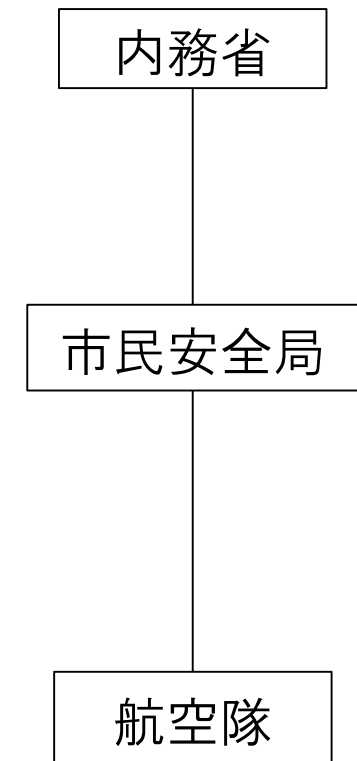
ギリシャ



米、カナダ、オーストラリア



フランス



【参考資料】

◆国連(UN)・欧州連合(EU)による森林火災の管理・監視活動

➤ UN ISDR/FAO/GFMCによる国際協力管理活動

(ISDR(International Strategy for Disaster Reduction): 国際防災戦略, FAO(Food and Agriculture Organization): 国連食糧農業機関)

- ✓森林火災管理ガイドラインの作成
- ✓国際相互支援協定基準の作成
 - ・各地域ごとに検討会をスタート
 - ・日本は未だ未加入

➤ UN GFMC(Global Fire Monitoring Center: 世界火災監視センター)

- ✓世界レベルでの森林火災の監視と警戒情報、火災データの提供
- ✓森林火災発生時のホットラインと緊急アセスメント支援
- ✓国・地域・関連国際団体の防災戦略構築支援

➤ EFFIS(European Forest Fire Information System: 欧州森林火災情報システム)

- ✓欧州全域における森林火災の発生危険度マップ、ニュース等の提供
- ✓国際協力の支援必要性評価等にも活用

【参考資料】

➤ 欧州市民保護機構 (Community Mechanism for Civil Protection)

✓ 世界各国の災害に対する緊急支援を実施

- ・参加国：欧州31カ国 (EUメンバー 27カ国 + 4カ国)
- ・参加国間で相互支援協定を締結し、迅速な支援を提供
- ・参加国以外の世界各国のあらゆる災害に対しても支援

✓ Emergency Response Coordination Centre (ERCC)

- ・Community Mechanismの支援受付・調整窓口

✓ 支援費用負担：基本的に、Give and Take

- ・提供装備・人件費は支援側、被支援国は滞在中の経費負担、等

✓ 国際支援の課題

- ・言語、2次災害の責任、未締結国との支援協定の締結、他